

医学系研究に関する情報公開文書

| | |
|---------|---|
| 研究課題名 | ボルテゾミブ(ベルケイド)・レナリドミド(レブラミド)に不応となった多発性骨髄腫症例の後方視的検討 |
| 研究責任者 | 骨髄腫・アミロイドーシスセンター長 鈴木 憲史 |
| 研究機関名 | 日本赤十字社医療センター |
| 研究目的と意義 | <p>多発性骨髄腫はBリンパ球から分化した形質細胞の悪性腫瘍であり、その産物である単クローン性免疫グロブリン(M蛋白)の過剰産生や貧血を主とする造血障害、易感染性、腎障害、溶骨性変化などの多彩な臨床症状を呈する疾患です。ボルテゾミブとレナリドミドに不応となった症例は特に予後が悪いとされています。それらの症状に対してポマリドミド(ポマリスト)など新薬が次々と承認され生存期間の延長がみられるようになってきています。本研究ではボルテゾミブとレナリドミドに不応となった多発性骨髄腫症例の予後、奏効などの調査を目的としています。</p> <p>※()内は商品名</p> |
| 研究方法 | <p>本試験は後ろ向き研究です。研究対象中(2002年1月～2018年9月)にボルテゾミブ・レナリドミドに不応となった多発性骨髄腫症例を対象とし、臨床情報(患者背景、奏効、臨床検査値など)を診療録より抽出し調査を行います。</p> <p>診療録より得られたデータは匿名化され個人の名前、情報が第三者に漏洩することはありません。本研究の学会発表、論文報告においても個人を特定できる情報は一切公開されません。</p> <p>本研究の参加を希望されない方は下記までご連絡下さい。参加を希望されなくても不利益を被ることはありません。</p> |
| 問い合わせ先 | <p>日本赤十字社医療センター 骨髄腫・アミロイドーシスセンター長 鈴木憲史、血液内科 宮崎寛至 〒150-8935 東京都渋谷区広尾4-1-22 担当者 : TEL : 03-3400-1311 FAX : 03-3409-1604</p> |